

昭和五十五年  
蕨市  
文化  
文化奨励賞

蕨市教育委員会

# 帯 広 市 文 化 賞



西

武

氏は長年帯広畜産大学教授として研究教育に専念され、馬産地十勝における伝染性貧血症並びに獣医公衆衛生学に関する専門的業績を残されるとともに、多数の有為な人材の育成に努力されました。

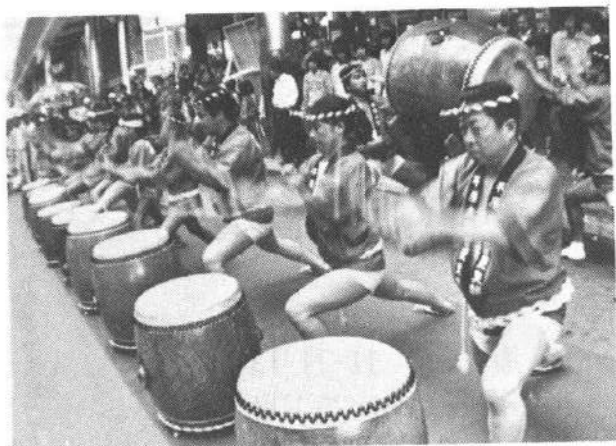
また、その卓越した学識と識見を通して、十勝川水系の生態系の研究に自ら取組まれたほか、自然と調和ある生活文化をめざした幅広い教育活動にも積極的に参加されて、市民意識の昂揚に貢献されました。

さらには、短歌グループ活動を通して、昭和40年から現在に至るまでの長い間、帯広市民文芸の編集に携わるなど、その幅広い活動と多大なる功績は顕彰するにふさわしいものと評価されます。

## 〈参 考〉

1. 短歌会こぶし編集委員、運営委員
2. 帯広市民文芸編集委員
3. 帯広を緑と花で美しくする運動実行委員会役員
4. 十勝自然保護協会会長
5. 各学校講師（大谷短大、帯広高等看護学院、帯広調理士学校）
6. 帯広市公害対策審議会議長
7. 釧路地方家庭裁判所（帯広）調停委員
8. 帯広市水道事業経営審議会委員
9. 主な著書…「乳牛の環境衛生学」「馬の伝染性貧血」「獣医公衆衛生学」等
10. 現帯広畜産大学名誉教授

# 帯広市文化奨励賞



## 平原太鼓保存会

昭和45年7月10日設立

十勝開拓のありさまを勇壮な太鼓の響きで表現する平原太鼓は帯広十勝の代表的な郷土芸能にまで成長するに至りました。保存会の主な打手が社会人であるにもかかわらず、連日、深夜に及ぶ練習によって全道太鼓競演大会で優勝し、その音楽水準の高さを立証して、各界の評価を得るに至った努力は特筆されます。

また、青少年への継承指導にもなみなみならぬ情熱を注ぎ、現在多数の若い会員が加入して、新しい創作に取り組む意欲あふれた活躍は、今後に期待するものが多大であり、設立10年の記念すべき時にあたり、顕彰するにふさわしいものと評価されます。

### 〈参 考〉

1. 札幌雪まつり第2回全道太鼓競演大会優勝（昭和46年）
2. 海外親善演奏旅行実施（カナダ及びアラスカ州、昭和51年）
3. 平原太鼓鼓友会結成（各町村に支部設立、昭和52年）
4. 設立10周年（昭和55年）
5. レポートリー「十勝駒太鼓」「十勝木出し太鼓」「十勝開墾太鼓」  
「寿太鼓」「狩勝太鼓」  
創作中「十勝川あきあじ太鼓」「ひぐま太鼓」